

〔 名前 〕 日高由貴

〔 職位 〕 講師

〔 保有学位 〕 教育学修士

〔 担当科目 〕 卒業研究、領域指導法（人間関係・言葉・環境・表現）、教育方法論、英語、演劇、保育実習指導、保育実践演習

〔 専門分野 〕 教育学、音楽、児童文学

〔 学外活動 〕

- ・【公式ウェブサイト】 <https://www.niwatoriworks.com/>
- ・令和 4・5 年度国際児童文学館特別研究者
- ・京都大学人文科学研究所共同研究「家族と愛の研究」研究メンバー
- ・同志社大学「奄美—沖縄—琉球」研究センター研究メンバー
- ・Piano Adventure（国際的に使用されているこども向けピアノテキスト）歌唱担当
- ・社会福祉法人南友会 かんらんこども園評議員

〔 主な教育・研究業績 〕

(a) 論文、講演等

1. 2005. 3. 「『キリシタン』をめぐる記述—新村出と名づけえぬもの—」『日本学報』24号、大阪大学日本学研究室、pp. 79-99.
  2. 2010. 7. 「うたのなかの『神さま』」『Cultures/Critiques』第2号、国際日本学研究会、pp. 95-105.
  3. 2011. 3. 「わたしからへの旅」『日本学報』30号、大阪大学日本学研究室、pp. 85-101.
  4. 2016. 3. 「『銀河鉄道の夜』、あるいは宮沢賢治の磁力について」『イシバシ評論：Cultures/Critiques』別冊、イシバシ評論編集部編、pp. 339-348.
  5. 2019.6.立命館大学におけるジェンダー論の授業において、ゲストスピーカーとして、ジェンダーの観点からみたジャズの歴史について講演。（「歌と言葉を紡ぐこと」）
  6. 2021.3. 「『こころのなかにうたがあるよ』—アメリカ合衆国における子供むけジャズ教育カリキュラムの一例—」大阪城南女子短期大学研究紀要 第55巻、pp. 133-143.
  7. 2022. 3. 「領域『言葉』『表現』におけるICT利用に関する考察—Covid-19の影響下における朗読動画制作の過程から—」大阪城南女子短期大学研究紀要 第56巻、pp. 71-88.
  8. 2022. 4月～2024. 3 国際児童文学館令和4年度、5年度特別研究員。
  9. 2023. 5. 5. 新美南吉記念館にて南吉作品の朗読。
- \*他、オンライン雑誌『MFE 多焦点拡張』（同志社大学奄美—琉球センター、他）に毎号学術的

エッセイを掲載。

(b) 音楽、朗読劇等

1. 2011年、2012年、アメリカにおいて毎年開催されている Vermont Jazz Center Summer Program に参加（2012年は奨学金取得）。
2. 2013. 5. 毎週金曜日 音楽朗読劇「銀河鉄道の夜」ラジオ放送（京都三条ラジオカフェ）
3. 2013. 5-8. 3か月、ベース奏者 Richard Davis と、その家族と生活をともにし、学ぶ。
4. 2013. 8. 大阪府の 應典院 でおこなわれたイベント、「キッズ・ミート・アート」にジャズクラスの講師として招聘され、参加
5. 2014.5 岡田暁生+フィリップ・ストレンジ『すごいジャズには理由（ワケ）がある』（アルテスパブリッシング、2014年5月） 動画編集担当（[https://youtu.be/dh7Zlo1zu\\_M](https://youtu.be/dh7Zlo1zu_M)）
6. 2015. 8. 22. 法然院において音楽朗読劇「曾根崎心中」に出演
7. 2016. 10. アルバム “虹色の小舟” をリリース。
8. 2019.3. 「アート、という場所」『キッズ・ミート・アート こどもと出会い、すれ違うアート』総合保育研究双書 6、大阪総合保育大学 総合保育研究所（保育におけるアートの可能性）、pp. 40-41.
9. 2021. 2.. 大阪城南女子短期大学令和3年度個人特別研究費にて、新美南吉『てぶくろを買いに』の動画制作。朗読及び演奏を担当。

\*他、ウクライナ難民支援チャリティーコンサートの開催、ライブ活動、ホテルでの演奏活動など、多数。